

# 平成 29 年度認定こども園リーチェル幼稚園における学校関係者評価および自己評価の結果報告

自己評価アンケート集計日 平成 30 年 3 月 1 日  
 学校関係者評価委員会評価実施日 平成 30 年 3 月 8 日

## 1. 園の教育目標

心身ともにたくましい子になろう

## 2. 本年度の認定こども園リーチェル幼稚園の具体的な保育指針

- 自分で出来ることは自分でやる気概を育てる
- 知性・思考力と好奇心、創造性の伸長
- 身近な動植物を愛し、自然や社会の事象に興味・関心をもつ
- 体力の向上をはかる
- 10の約束（幼児期に身につけたいモラル）を実践する

## 3. 学校評価項目の取り組み状況・達成結果の評価

	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
		評価	反省と改善点	評価	意見
1	保育の計画性	B	今年度よりはじめた乳児保育については、より充実した内容にできるよう次年度へ引継ぐ こども園開園にともない長時間保育児が増え、日々の反省、教材研究の時間等が充分確保できなかった	A	こども園となり乳児が増えたが、各学年の年間保育計画、また月間保育指導計画表のとおり保育がなされ、計画的におこなわれている
2	保育の在り方 園児への対応	B	乳児への補助が多く必要になり、年少児への年当初のサポートが手薄になってしまったが、職員数を増やしきめ細かいサポートができるようになった。新園舎を活用し保育や食育の環境を充実させることができた。 長時間保育児がこれから年々増えていくことを考慮し、教諭の保育体制を工夫改善し、園児への充実した教育保育の提供を構築していく必要がある。	A	新しく給食室ができ、和食中心の給食の提供等による子供達への食育が充実し、とてもよい。 乳児保育についても充実した保育内容でよいが、幼児との関わりなどをより充実させ、0歳～5歳までの子供達がいる環境を生かしより良い保育を実践していけるよう工夫も必要
3	教師としての 資質・能力 良識・適性	A	各教諭に対する保育技術向上のための必要研修に積極的に参加した。またキャリアアップに向けた研修をより充実させ、専門分野の研修の受講をすすめていった また個々の保育技術の向上・資質向上に努めた	A	定期研修や外部の研修へ積極的に参加し教師の資質向上に努めている 職員全体会議等を利用し職員全体の資質向上に努め、より良い組織を築いてほしい
4	保護者への 対応	B	保育参加や保護者参観会、行事等をおし保護者に園のことを理解してもらう機会をつくり、また父母の会活動をおして園との距離を縮めてもらうよう努めた 保護者とのコミュニケーションの機会や保護者同士の繋がり改善が求められる	B	保護者が園に協力してもらうためには園とのコミュニケーションの機会を多くもつことが大切である。また保護者同士のコミュニティのあり方にも工夫が必要
5	地域の自然や 社会との 関わり	A	近くの森や公園、市街地などへの園外保育や夏期保育、サマーキャンプを通して地域の地理や自然に親しみ、また社会性を学ぶ良い機会となった	A	地域の施設を園外保育に活用し社会性も養われる。地域の方の協力のもと田植えやじゃがいも堀ができており、連携を続けていって欲しい
6	研修と研究	A	研究については食育と運動の強化を推進することができた。特に給食を通した食育を充実させることができた。	A	教育内容がより充実したものとなるよう教育研究に努めていって欲しい

\*結果の表示方法

十分達成されている  
 達成されている  
 取り組まれているが、成果が十分でない  
 取り組みが不十分である

A  
 B  
 C  
 D

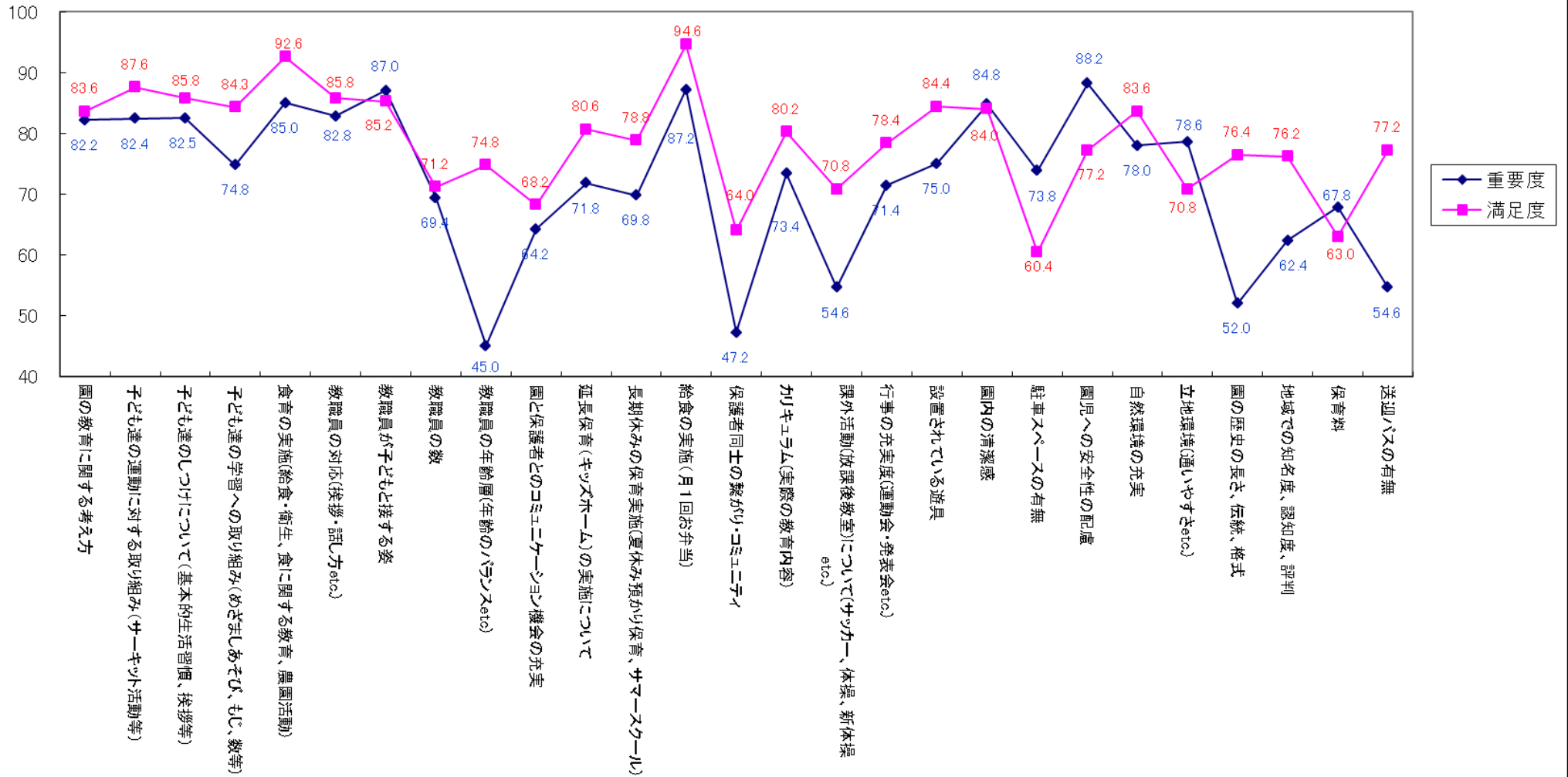
4. アンケートによる自己評価（教職員）および保護者による学校評価の結果

	項目	質問内容	自己評価		学校評価	
1	理念・教育方針	園の教育に関する考え方	81.4	76.9	83.6	86.8
		子ども達の運動に力を入れている	77.1		87.6	
		子ども達のしつけをしっかりとおこなっている	77.1		85.8	
		子ども達の学習に力を入れている	69.1		84.3	
		食育の実施(給食の味・栄養バランス・衛生、食に関する教育の有無)	79.4		92.6	
2	教職員の取り組み	教職員の対応(挨拶・話し方 etc.)	73.5	69.0	85.8	77.0
		教職員が子どもと接する姿	77.9		85.2	
		教職員の数	62.5		71.2	
		教職員の年齢層(年齢のバランス etc)	65.7		74.8	
		園と保護者とのコミュニケーション機会の充実	65.4		68.2	
3	教育・保育に関するサービス	延長保育の実施	78.6	75.9	80.6	79.4
		長期休みの保育実施(夏休み etc.)	78.7		78.8	
		給食の有無	85.7		94.6	
		保護者同士の繋がり・コミュニティ	62.5		64.0	
		カリキュラム(実際の教育内容)	70.7		80.2	
		行事の充実度(運動会・発表会 etc.)	79.3		78.4	
4	施設・設備・環境	設置されている遊具	77.2	73.2	84.4	76.7
		園内の清潔感	73.5		84.0	
		駐車スペースの有無	67.7		60.4	
		園児への安全性の配慮	71.4		77.2	
		自然環境の充実	82.9		83.6	
		立地環境(通いやすさ etc.)	66.4		70.8	
5	その他	園の歴史の長さ、伝統、格式	72.9	72.1	76.4	73.2
		地域での知名度、認知度、評判	72.1		76.2	
		保育料	64.3		63.0	
		送迎バスの有無	79.3		77.2	

## 5. 保護者アンケートによる重要度と満足度の調査結果

※重要度とは幼稚園選びの際にどの項目を重視しているのかを示し、満足度とはリーチェル幼稚園の取り組みに対する各項目の印象(満足度)を示しています

### 保護者の満足度調査



6. 学校関係者評価委員会による総評

<p>こども園として新たに歩みをはじめたが、新しくなってもなお一層、園の理念・教育方針に対する保護者の理解も高く、カリキュラム、運動・食育に関する園の取り組みに高い評価をいただけている。こども園としてより満足いただけるようさらに教育保育の内容を充実させ、子供達の可能性をもっともっと引き出す活動を増やしていくとよりよい乳幼児教育が実践されていくと思う。</p>	<p>総評</p>
<p>保護者の満足度調査により保護者は重要視しているが、実際の満足度が低い項目がいくつかあり、より保護者の満足度をあげていく努力が必要である。教職員の対応について保護者の期待度は高く、その期待に応えるべくより充実した教育保育の研究と教職員の資質向上が求められる。さらに園内外の研修等で資質向上に努め、教職員全体のベースアップを図っていく事を望む。</p> <p>保育内容に関しても、新たにはじまった乳児保育についてさらに充実した保育計画をたてることにより、より良い乳幼児教育保育が展開できると思う。新たな0歳から5歳までの乳幼児保育を研究し、どこにも負けない教育を行うこども園を目指してほしい。これからの期待も込めて学校関係者評価委員会としての評価は A とする。</p>	

7. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
<p>教職員の資質向上、子供や保護者への対応の充実</p>	<p>当然のことながら保護者は、教職員が子供と接する姿をととても重要視しており、園におけるその対応にも注目されている。満足度でも8割を超える高い評価をいただいているが、保護者からの好感度をよりあげるよう教諭に限らず、教職員全員の資質向上が重要である。園の雰囲気、しいては園の文化としてよりよい雰囲気が築けるよう更なる努力をお願いしたい。教職員の資質向上につながる研修を計画的に取り入れ実施していく。</p>
<p>園児への安全性の強化</p>	<p>園における危険個所の把握と危機対応による研修を重ね、教職員全員の意識を向上させる。</p> <p>自然豊かな環境にはもちろん危険性も含まれるが、そのうえで安全な保育環境を確保し、また子供達への安全教育もおこない、のびのびと子供達が遊べる環境作りに心がける。</p> <p>子供達の冒険心を尊重し、かつ安全にいろいろな事に挑戦できる環境を整える。</p> <p>防災用品の確保と点検をおこない万が一に備える。</p>
<p>駐車場、園への通園の問題</p>	<p>交通量の多い降園時の交通整理をおこない、また保護者の交通マナーの徹底をおこなう。</p> <p>近隣の方々に迷惑がかからないよう登園・降園時のマナーを徹底する。</p>
<p>施設・園庭等園内環境の整備・美化</p>	<p>園内の清潔を常に重要課題として認識する。</p> <p>新園舎においてはこまめな清掃をおこない清潔を維持するよう心掛ける。</p> <p>安全対策への教職員の意識をさらに高め、園庭における職員配置の改善や園庭の環境整備を進める。</p>